

「森川海はひとつ」という思いを「人がつなぐ」意味。

山は川を通して平野の暮らしを支え、海への恩恵をもたらす源流でもあることから、森川海のつながりや管理の重要性などについて「森川海はひとつ」として県民に広げ、県民一人一人の意識醸成や行動につなげるもの。

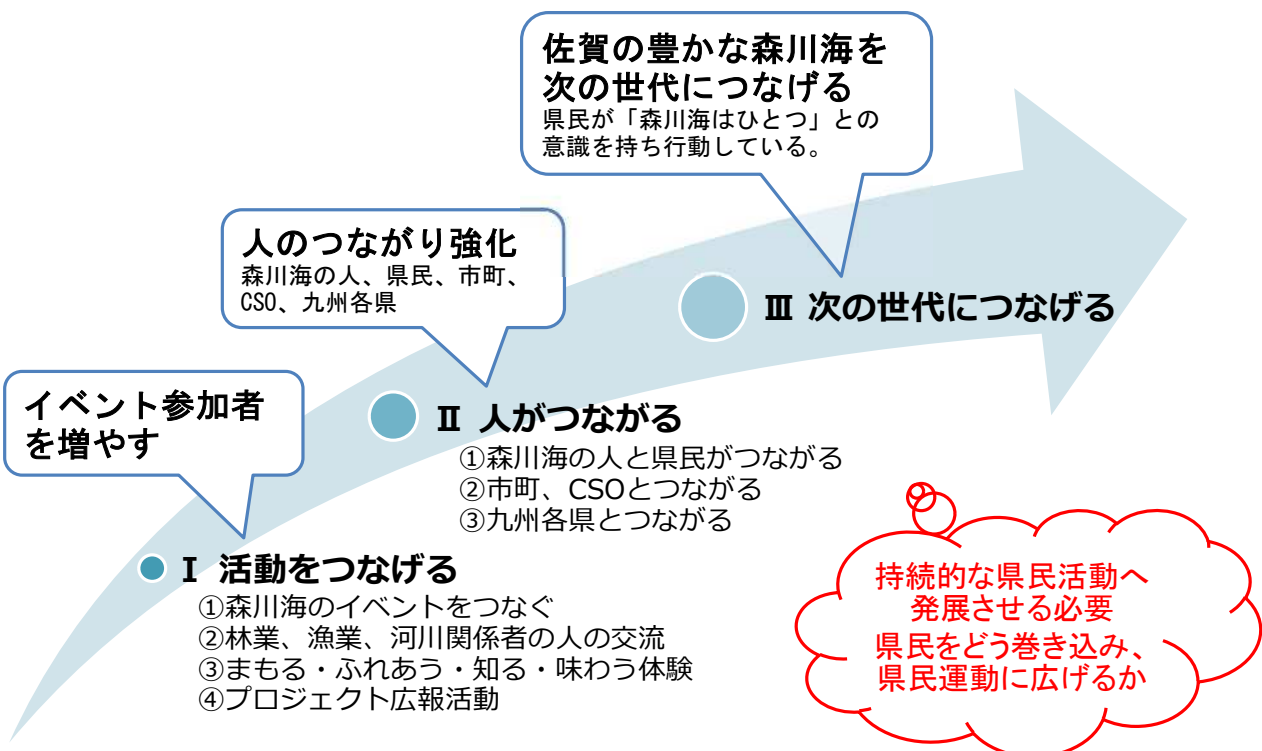
森、川、有明海や玄海の豊かな自然環境を未来につなげるプロジェクト。

きっかけは、『平成29年7月九州北部豪雨』災害。

平成29年九州北部豪雨による有明海への流木被害や平成30年から令和3年まで4年連続で大雨特別警報が発表されるなど、土砂災害のリスクが高まっています。県民の生命や豊かな暮らしを守る礎となる山を未来に引き継ぐため「山を大切にすること、そして「森川海の自然のつながりを守る」ことが必要。山は平野部の暮らしを支え、海への恩恵をもたらす源流でもあることから、「森川海はひとつ」として豊かな自然環境を人が未来につなげる「森川海人っプロジェクト」に取り組んでいく。



森川海人っプロジェクトで目指す姿



平成29～令和5年度の取組内容

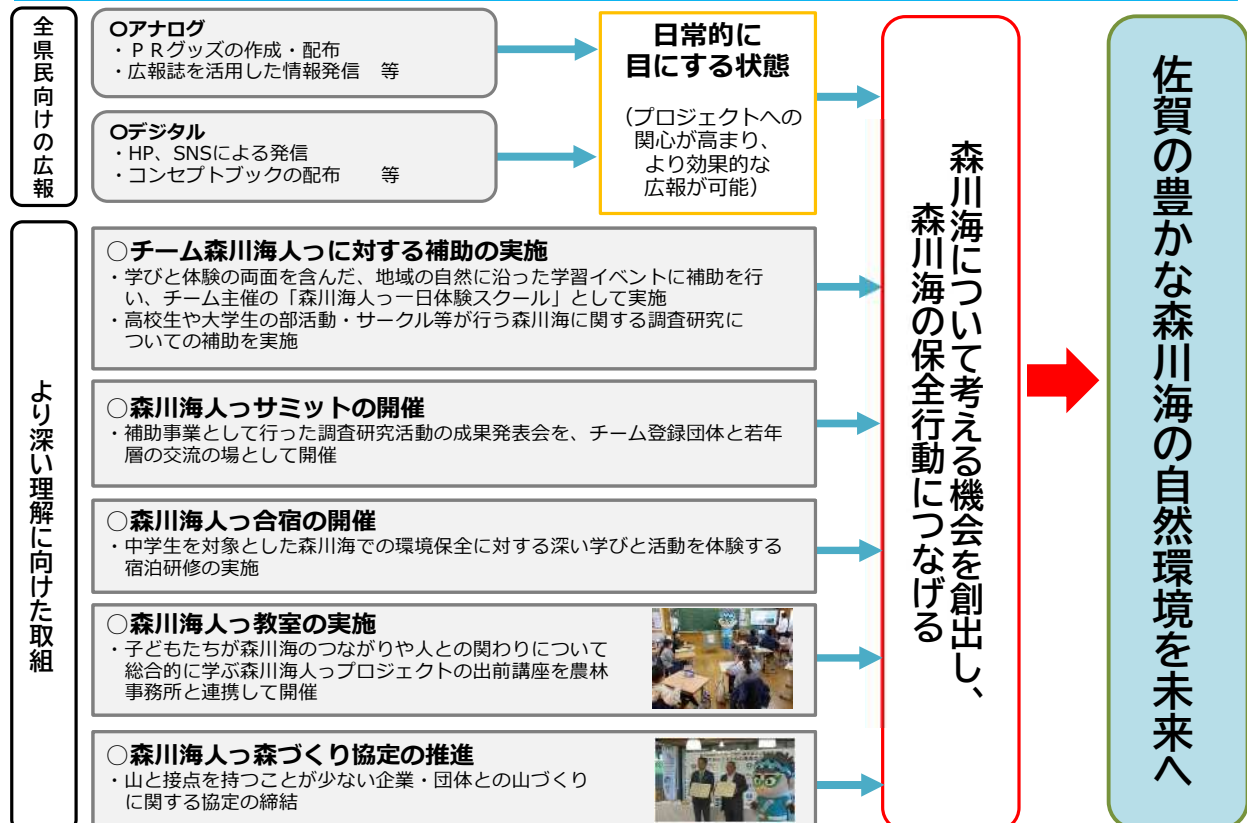


H29	・プロジェクト始動の知事記者発表(10月) ・リレーイベントの実施 ・知事と森川海の代表者による座談会(新聞対談)	
H30	・キャラクター、ロゴ制作 ・チラシ配布、テレビCM放送等によるPR活動 ・PR用デント、若くみなど普及啓発資材の製作 ・森川海や保全活動のPV制作 ・佐賀県森川海人っ感謝状の贈呈 ・森川海イベントの開催	
R1	・プロジェクト全体の総括ディレクション ・広報媒体等での普及啓発 ・HP、SNS等情報発信 ・イベント等でのPR活動 ・コンセプトブック等製作 ・チーム森川海人っ、森川海人っプロジェクトの登録 ・佐賀県森川海人っ感謝状の贈呈 ・森川海イベントの開催	
R2	・プロジェクト全体の総括ディレクション ・広報媒体等での普及啓発 ・HP、SNS等情報発信 ・普及啓発グッズ等の製作 ・チーム森川海人っ等登録 ・佐賀県森川海人っ感謝状の贈呈 ・森川海イベントの開催 ・第1弾森川海人っ協定の締結(有明海漁業協同組合)	
R3	・プロジェクト全体の総括ディレクション ・広報媒体等での普及啓発 ・HP、SNS等情報発信 ・普及啓発グッズ等の製作 ・チーム森川海人っ等登録 ・佐賀県森川海人っ感謝状の贈呈 ・森川海イベントの開催 ・一日体験スクールの実施 ・第2弾森川海人っ協定の締結(佐賀トヨタ自動車社) ・体験シェアサービスを活用した「森川海の体験ツアー」の企画書制作	

R4	・広報媒体等での普及啓発 ・HP、SNS等情報発信 ・普及啓発グッズ等の製作 ・チーム森川海人っ等登録 ・佐賀県森川海人っ感謝状の贈呈 ・森川海人っフェス1、よかウッドフェスタ合同開催 ・一日体験スクールの実施(4回/年) ・第3弾森川海人っ協定の締結(松西島製作所) ・第4弾森川海人っ協定の締結(松まるさん) ・森川海人っ教室の実施(農林事務所主催) ・HPリニューアル ・第5弾森川海人っ協定の締結(佐賀信用金庫)	
R5	・広報媒体等での普及啓発 ・HP、SNS等情報発信 ・普及啓発グッズ等の製作 ・チーム森川海人っ等登録 ・佐賀県森川海人っ感謝状の贈呈 ・森川海人っフェス1、よかウッドフェスタ合同開催 ・一日体験スクールの実施(2回/年) ・第6弾森川海人っ協定の締結(松九州ダイエツクック) ・第7弾森川海人っ協定の締結(損害保険ジャパン松佐賀支店) ・森川海人っ教室の実施(農林事務所主催) ・チーム森川海人っ、フィールドマスター交流会の開催 ・森林保全作業安全衛生講習会の開催 ・森川海人っ教材の作成	



R6の取組について (森林整備課関係)



森・川・海をつなぐ九州・山口行動推進宣言～佐賀宣言

九州・山口地域は、豊かな森、清らかな川、豊饒な海など恵まれた自然環境を有しており、その恩恵は、農山漁村に住む人々だけでなく、森・川・海の大きな循環を通して、都市住民も含めたあまねく人々が享受している。

この恵まれた自然環境は、そこに暮らす人々が利用し、手を加えることで育まれ、保たれてきた。

しかしながら、時代の変遷の中で、産業構造や人々の生活エリアが変化し、また近年は人口減少や高齢化の進行が大きな課題となっている。

そうした中で、森林が持つ保水力や豊かな栄養供給力が失われ、人工林の荒廃、河川への土砂流入・堆積、耕作放棄地の増加、干潟や藻場の消失など、森・川・海のつながりが薄れ、災害の発生など多くの問題が発生している。

国においては、国土の保全や水源の涵養、快適な生活環境の創出など、森林の持つ多面的機能を将来にわたって持続できるよう、森林環境税(仮称)を創設し、新たな森林経営のあり方も検討されている。

森・川・海がつなぐ貴重な自然環境によって、我々の日常生活は支えられている。これまでも、様々な場面で環境保全活動が行われているが、今一度、その原点に立ち返り、以下の取組を推進することをここに宣言する。

1. 森・川・海がひとつにつながっているという認識を新たにし、その豊かな自然を守り、未来に継承していくため、一人ひとりの更なる環境意識を醸成する
2. 様々な環境保全活動の裾野を拡大し、県境を越えた九州・山口全域での取組としながら相互の交流を進め、持続的な活動へ発展させる

平成30年5月22日

九州地方知事会 会長 広瀬勝貞